



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 今村 徹 (TEL) 06-6110-1560
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	70,215	△9.6	7,599	△45.5	8,594	△42.5	5,295	△48.8
2023年3月期第3四半期	77,705	19.0	13,951	41.8	14,956	40.7	10,334	36.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,829百万円 (△32.7%) 2023年3月期第3四半期 11,633百万円 (89.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	208.16	-
2023年3月期第3四半期	422.93	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	144,646	105,094	72.7
2023年3月期	138,029	99,543	72.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 105,086百万円 2023年3月期 99,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	45.00	-	45.00	90.00
2024年3月期	-	45.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	0.8	10,000	△35.7	11,100	△35.3	7,500	△29.1	294.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	26,732,017株	2023年3月期	26,732,017株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,290,228株	2023年3月期	1,291,509株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	25,441,266株	2023年3月期3Q	24,436,157株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の増加や雇用情勢の改善など持ち直しの動きが続きました。一方で、原燃料価格高騰や物価上昇に加え、ウクライナ情勢の長期化、緊迫化する中東情勢、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスク等の影響もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、前年11月に公表した新中期経営計画「Shape the Future-2025」

(2023年～2025年度)で掲げた「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

「既存事業の継続的基盤強化」においては、安定したキャッシュの創出と成長分野への積極的な投資により事業基盤の拡充を図ってまいります。基礎化学品事業では、アリルクロライド製造設備の主要機器に再度不具合が認められたため生産を一部停止しておりましたが、11月21日より7割程度まで回復し、現在は安定稼働の状態となりました。機能化学品事業では、主要製品の需要が低下するなかで、新規開拓によりアクリルゴムの販売数量を着実に伸ばすことができました。ヘルスケア事業では、糖尿病治療薬や急速に拡大する肥満治療薬向けの医薬品精製材料の需要拡大に対応するため、松山工場での新製造設備建設の決定に続き、尼崎工場でも第2期増強として製造設備の新設を決定いたしました。松山工場では2024年9月の完成を目指して前年11月より、尼崎工場においても2026年度の完成を目指して2024年1月より建設を開始しており、医薬品精製材料への投資計画は順調に進んでいます。ヘルスケア事業の成長戦略が評価されたこともあり、株価純資産倍率(PBR)は、東証プライム企業の平均を大きく上回る水準(2023年12月末時点でPBR2倍超)となりました。

「新製品創出力の強化」では、NEDOのグリーンイノベーション基金事業として採択された全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー等の次世代蓄電池用材料の開発は当初計画どおりに進捗しています。新たな研究施設として電池研究棟の建設にも既に着手しており、次のグローバルニッチトップ製品へと着実に育ててまいります。

「サステナビリティ経営の推進」では、コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応として、TCFD対応・GHG排出量の算定等に取り組むとともに、新たに統合報告書を作成いたしました。また、当社経営ビジョンに掲げる「社員とともに成長する企業」を目指して昨年度の管理職人事制度の改定に続き、前年4月より一般社員の人事制度も改定いたしました。今後は新しい人事制度の下で、業務改革活動のさらなる浸透、従業員エンゲージメントの向上、次世代を担う人材の育成に取り組んでまいります。

水島工場の製造設備不具合の影響(売上高46億円、営業利益46億円)もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、702億1千5百万円と前年同期比9.6%の減少となりました。利益面におきましても、営業利益は75億9千9百万円と前年同期比45.5%の減少、経常利益は85億9千4百万円と前年同期比42.5%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億9千5百万円と前年同期比48.8%の減少となりました。

なお、ヘルスケア事業が当社第3の収益の柱として順調に成長してきたこともあり、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメント区分を、「基礎化学品」、「機能化学品」、「ヘルスケア」、「商社部門ほか」の4部門に変更しております。これに伴い、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み換えた数値で比較しております。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

(基礎化学品)

クロール・アルカリは、水島工場の製造設備不具合の影響や需要低下により販売数量が減少したものの、原燃料価格高騰に伴う製品価格の上昇もあり、売上高は増加しました。

エピクロロヒドリンは、製造設備不具合の影響による販売調整に加え、エポキシ樹脂の需要低下や海外市況の軟化により、売上高は減少しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は272億2千9百万円と前年同期比15.9%の減少となりました。

(機能化学品)

合成ゴム関連では、エピクロロヒドリンゴムは、自動車生産台数の回復に伴い、売上高は増加しました。アクリルゴムは国内外で新規採用が進んだため、売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、UVインキ用途向けでは中国で新規需要を獲得し販売数量は増加しましたが、絶縁ワニス用途向けの需要低迷等により、売上高は減少しました。

アリルエーテル類では、欧米および中国で塗料用途を中心としたシランカップリング剤向けの需要低下に加え、市況の軟化により、売上高は減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は213億9千7百万円と前年同期比6.3%の減少となりました。

(ヘルスケア)

医薬品精製材料は、欧米並びにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、核酸医薬原薬、抗潰瘍薬中間体および不眠症治療薬中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、ヘルスケアの売上高は82億2千万円と前年同期比7.9%の増加となりました。

(商社部門ほか)

生活関連商品は販売が堅調に推移したため売上高は増加しましたが、ガラス繊維等を中心に電子材料および自動車向け商材が低調に推移したため売上高は減少しました。

以上の結果、商社部門ほかの売上高は133億6千7百万円と前年同期比10.0%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、2.9%増加し922億6千2百万円となりました。これは、主として現金及び預金が11億7百万円、電子記録債権が19億1千3百万円それぞれ増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、8.3%増加し523億8千4百万円となりました。これは、主として有形固定資産が6億7千7百万円増加し、投資有価証券が32億4百万円増加したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、4.8%増加し1,446億4千6百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、0.2%増加し323億8千5百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が30億1千4百万円増加し、未払法人税等が31億3百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、16.1%増加し71億6千6百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が11億7千5百万円増加したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、2.8%増加し395億5千2百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、5.6%増加し1,050億9千4百万円となりました。これは主として、利益剰余金が30億6百万円、その他有価証券評価差額金が22億4千万円、それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,844	13,951
受取手形、売掛金及び契約資産	29,290	29,526
電子記録債権	3,826	5,739
有価証券	23,998	23,998
商品及び製品	9,516	9,219
仕掛品	2,602	2,568
原材料及び貯蔵品	3,965	5,695
その他	3,599	1,565
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	89,640	92,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,721	7,284
機械装置及び運搬具（純額）	11,239	12,111
土地	2,304	2,301
リース資産（純額）	644	638
建設仮勘定	3,730	3,047
その他（純額）	462	397
有形固定資産合計	25,103	25,780
無形固定資産		
のれん	217	175
ソフトウェア	102	110
その他	320	639
無形固定資産合計	639	925
投資その他の資産		
投資有価証券	21,302	24,506
繰延税金資産	677	470
長期貸付金	14	12
その他	657	711
貸倒引当金	△5	△22
投資その他の資産合計	22,645	25,678
固定資産合計	48,389	52,384
資産合計	138,029	144,646

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,397	17,411
短期借入金	7,172	7,172
未払法人税等	3,585	481
賞与引当金	928	477
1年内返済予定の長期借入金	58	68
その他	6,168	6,774
流動負債合計	32,310	32,385
固定負債		
長期借入金	434	433
リース債務	838	821
繰延税金負債	1,709	2,884
退職給付に係る負債	2,826	2,697
資産除去債務	152	150
その他	214	179
固定負債合計	6,175	7,166
負債合計	38,485	39,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,871	15,871
資本剰余金	17,009	17,014
利益剰余金	62,741	65,747
自己株式	△3,811	△3,810
株主資本合計	91,812	94,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,339	9,580
繰延ヘッジ損益	△101	△84
為替換算調整勘定	676	934
退職給付に係る調整累計額	△190	△166
その他の包括利益累計額合計	7,723	10,262
非支配株主持分	8	8
純資産合計	99,543	105,094
負債純資産合計	138,029	144,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	77,705	70,215
売上原価	53,350	52,078
売上総利益	24,355	18,137
販売費及び一般管理費	10,404	10,537
営業利益	13,951	7,599
営業外収益		
受取利息	10	18
受取配当金	557	637
持分法による投資利益	2	15
為替差益	450	227
受取保険金	12	0
補助金収入	50	318
その他	106	111
営業外収益合計	1,189	1,327
営業外費用		
支払利息	67	72
棚卸資産廃棄損	93	—
固定資産圧縮損	—	233
その他	23	26
営業外費用合計	184	332
経常利益	14,956	8,594
特別利益		
投資有価証券売却益	—	180
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	181
特別損失		
減損損失	—	430
固定資産除却損	141	228
特別損失合計	141	659
税金等調整前四半期純利益	14,814	8,116
法人税、住民税及び事業税	4,188	2,468
法人税等調整額	291	361
法人税等合計	4,479	2,830
四半期純利益	10,334	5,286
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,334	5,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	10,334	5,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	617	2,240
繰延ヘッジ損益	△206	17
為替換算調整勘定	838	235
退職給付に係る調整額	25	23
持分法適用会社に対する持分相当額	23	25
その他の包括利益合計	1,299	2,542
四半期包括利益	11,633	7,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,627	7,835
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	26,193	7,299	2,740	12,048	48,282	—	48,282
中国	7	6,749	1,099	1,962	9,818	—	9,818
アジア	4,368	4,052	1,272	761	10,453	—	10,453
欧州	571	2,924	1,581	45	5,123	—	5,123
その他地域	1,247	1,813	924	43	4,028	—	4,028
顧客との契約から 生じる収益	32,388	22,838	7,617	14,861	77,705	—	77,705
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	32,388	22,838	7,617	14,861	77,705	—	77,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	528	—	3,031	3,561	△3,561	—
計	32,389	23,367	7,617	17,893	81,266	△3,561	77,705
セグメント利益	4,790	5,823	3,622	648	14,884	△933	13,951

(注) 1 セグメント利益の調整額△933百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	26,193	6,312	2,872	11,666	47,044	—	47,044
中国	—	6,562	841	1,171	8,575	—	8,575
アジア	717	4,451	1,330	478	6,977	—	6,977
欧州	195	2,207	2,399	43	4,846	—	4,846
その他地域	122	1,864	776	7	2,771	—	2,771
顧客との契約から 生じる収益	27,229	21,397	8,220	13,367	70,215	—	70,215
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	27,229	21,397	8,220	13,367	70,215	—	70,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	909	—	2,207	3,117	△3,117	—
計	27,230	22,307	8,220	15,575	73,333	△3,117	70,215
セグメント利益	20	3,325	4,184	976	8,506	△906	7,599

- (注) 1 セグメント利益の調整額△906百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「機能化学品」セグメントに含まれていたヘルスケア事業は、事業拡大にともない新たなセグメントとして分離・独立させております。また、経営成績の実態をよりの確に把握することを目的として、報告セグメントを従来の「基礎化学品」「機能化学品」「住宅設備ほか」の3区分から「基礎化学品」「機能化学品」「ヘルスケア」「商社部門ほか」の4区分に変更しております。加えて、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、共通費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。